

研究成果の概要

調査・研究テーマ

「外国人留学生のメンタルヘルスのための危機介入ガイドラインの策定について

調査研究者

及川津紀子、大西守、井上孝代、中川巳也子、大橋敏子

本ガイドラインは、留学生担当者に向けての標準的指針である。

本研究成果報告書の構成はつぎのとおりである。

第1章「外国人留学生のメンタルヘルスと危機介入」では、留学生の置かれている状況について述べ、留学生のメンタルヘルスと危機介入に関する基本的な理解を示す。次に、メンタルヘルスケアを考えるための枠組みとして、予防とケアという概念を解説し、さらに、①危機的事例の病態、②危機的事例の具体例とその対応、③困難な事例への対応と留学生のメンタルヘルスについて論じている。第2章「コミュニティ心理学的アプローチ」では、危機介入事例に基づき、コミュニティ・カウンセリング的アプローチによる対応策をまとめている。第3章「危機管理マネジメント」では、危機対応チームとその組織内での位置づけ、危機介入の実施、危機管理研修について論じている。第4章「質問票調査研究」では、調査結果に基づき危機対応事例と予防策についてまとめている。

資料編では本ガイドラインの要約版（別添資料）およびメンタルヘルスの危機介入について役立つと思われる知識、情報などを示した。

本ガイドラインは、「治療」というよりも、「留学生を受け入れている機関においてまずできること・すべきことは何か」ということに力点を置いている。したがって、精神医学的な病気の確定等を含む本格的な治療という点については、学内外の専門医療機関等との連携が不可欠である。一方で、専門的治療を必要としている留学生に対し、留学生を受け入れている機関で日々留学生に対応する担当者が果たす橋渡しの役割は大きく、またそれは受け入れ機関としての責務でもある。

本ガイドラインが、異国で勉強している留学生の支援に関わるすべての人々が彼らのメンタルヘルスに関する問題に対応するときに、何らかの指針として機能し、彼らの留学生生活が充実したものとなるようにと願っている。